

会 社 名 日本アジア投資株式会社 代表者の役職名 代表取締役社長下村 哲朗 (コード番号 8518 東証一部) 問い合せ先 執行役員 岸本 謙司 T E L 03(3221)8518

障がい者グループホーム開発・運営ファンドの 組成及び匿名組合出資について ~戦略投資先ソーシャルインクルーの事業拡大を支援~

日本アジア投資株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:下村 哲朗、以下:当社)は、当社の戦略投資先であるソーシャルインクルー株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長 三浦 恭平、以下「ソーシャルインクルー」)をオペレーターとする 24 時間支援体制の日中サービス支援型障がい者グループホームの開発・運営を目的として設立されたファンド「合同会社 GH プロパティ」(以下「本ファンド」)に対して、新生銀行グループの昭和リース株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:瀬戸 紳一郎)、ユニ・アジアインベストメント株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岩渕 昌浩)と共同で、SPC を通じて匿名組合出資を実行しましたのでお知らせいたします。

本ファンドは、ユニ・アジアキャピタルジャパン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:戸田 幸浩) により運営され、匿名組合出資者からの調達資金と金融機関からのノンリコースローンとを合わせて、千葉県、静岡県、その他地域で障がい者グループホームを新設します。

ファンドストラクチャー

合同会社GHプロパティ ノンリコースローン 借入金 金融機関 **オペレーター** グループ ホームの運営 障がい者 グループホーム social inclu 投資家 医名組合 🛖 昭和リース を新設 匿名組合 出資 [SPC] アセットマネージャー 匿名組合 JAIC ファンド GHインベス トメント 出資金 Uni-Asia Capital (Japa の運営 ュニ・アジアインベス トメント株式会社 出資金 (ユニ・アジアキャピ 一般社団法人 タルジャパン株式会社 出資 のグループ会社)

本ファンド概要

ファンド名	合同会社 GH プロパティ
匿名組合出資者	合同会社 GH インベストメント
	(匿名組合出資者;昭和リース株式会社、ユニ・アジアインベストメント株式
	会社、日本アジア投資株式会社)
グループホームオペレーター	ソーシャルインクルー株式会社
投資対象	24 時間支援体制の日中サービス支援型障がい者グループホーム
	(ソーシャルインクルーホーム船橋市金杉、ソーシャルインクルー熱海緑ヶ丘、
	他)

当社は、「日本とアジアをつなぐ投資会社として少子高齢化が進む社会に安心・安全で質と生産性の高い未来を創る」を経営理念とし、投資活動を通じて広くSDGsに貢献することを経営の重要課題と位置づけております。具体的には、再生可能エネルギー、スマートアグリ、ヘルスケア、ディストリビューションセンターを注力分野としております。



ヘルスケア分野では、包摂的かつ安全でより住みやすい社会の実現に向けて、障がい者グル

ープホームの建設・運営プロジェクトに積極的に取り組んでおります。障がい者グループホームでは、20 名程度の身体・知的・精神障がい者が、24 時間常駐の世話人の支援を受けながら共同生活をします。従来の障がい者向け入所施設に比べ小規模なため、入居者ひとりひとりのニーズに沿った支援が可能となります。また、入居の効果として、孤立の防止、生活への不安の軽減、共同生活による身体・精神状態の安定などが期待されています。

当社のプロジェクト投資の特徴の 1 つは、新規性の富んだ事業分野で、プロジェクトの企画や開発に精通したベンチャー企業とパートナーシップを組んで、投資を行う点です。

障がい者グループホームプロジェクトのパートナーは、「ソーシャルインクルーホーム」を日本全国で運営するベンチャー企業の、ソーシャルインクルーです。「住まいで困っている障がい者が『0』の社会を創る」という理念の下、社会課題の解決を経営の中核に据え、障がい者のための「住まい」の供給不足及び地域における雇用機会の不足という課題の解決に取り組んでいます。

具体的には、全ての施設が安定した高品質なサービスを提供できるよう施設を直営し、本社が中心となって施設運営マニュアルの整備や研修の実施、施設内外での通報/苦情処理体制の構築、内部監査室による定期的な指導等を行うことで、グループホーム運営に付随する社会的リスク等を適切にマネジメントした運営を行っています。

当社は、ソーシャルインクルーにも投資を行い、株主としてその成長を支援しています。当社の本ファンドへの匿名組合出資はその一環として行うものであり、ソーシャルインクルーの事業拡大を加速すると期待しております。

当社のプロジェクト投資の 2 つ目の特徴は、プロジェクトの社会的意義に賛同された金融機関と連携している点です。 投資対象となる建設・運営にかかる資金の多くを金融機関からの借入金で調達します。その結果、当社が少額の投資資金で高い採算性を追及できるという経済的メリットが生まれます。 同時に、当社単独で投資を行う場合に比べて多くの資金がプロジェクトに拠出され、より大規模・多数のプロジェクトを手掛けることができるため、プロジェクトのもたらす社会的インパクトが大きくなります。

本ファンドは、当社、昭和リース株式会社、ユニ・アジアインベストメント株式会社が共同で匿名組合出資者となり、金融機関からのノンリコースローンを加えて組成されます。障がい者グループホームを対象とする、他に例を見ないファンドです。当社は、本ファンドが、金融機関の資金運用ニーズと SDG s 分野の資金需要を結び付けて社会の課題を解決するプラットフォームとなると期待しております。

当社は、今後も、経営理念の実現に向けて障がい者グループホームプロジェクトへの資金拠出及びソーシャルインクルーの支援を積極的に行い、包摂的かつ安全でより住みやすい社会の実現に向けたソリューションを提供してまいります。

会社概要 ソーシャルインクルー株式会社

本社所在地 東京都品川区南大井六丁目 25番3号 いちご大森ビル 2F

代表取締役社長三浦 恭平設立2017 年 4 月

URL https://www.socialinclu.co.jp/



会社概要 日本アジア投資株式会社

本社所在地 東京都千代田区九段北三丁目2番4号

代表取締役社長 下村 哲朗

URL https://www.jaic-vc.co.jp/



以上

【お問い合わせ先】

日本アジア投資株式会社 管理グループ 丸山 (ir@jaic-vc.co.jp)